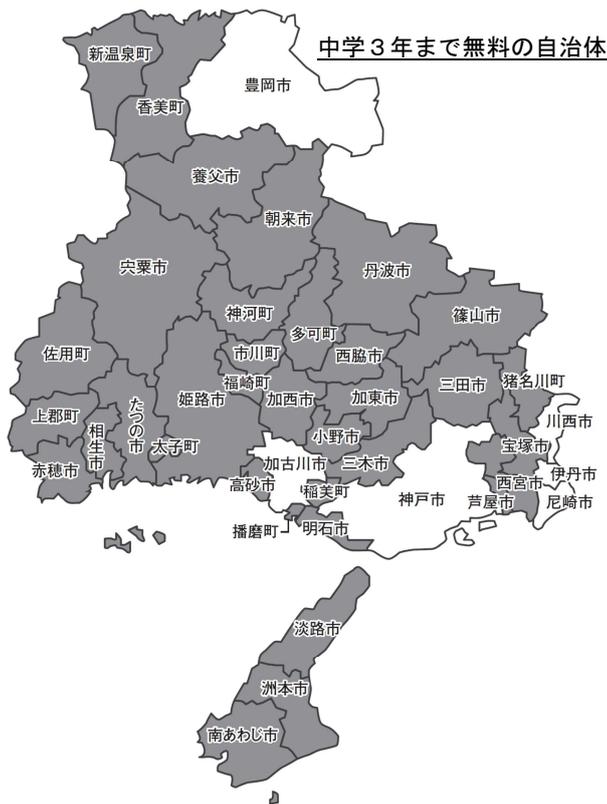


# 10月22日 神戸市長選 夢と希望がかなう 神戸へチェンジ!

中学3年まで  
医療費を  
無料に!



「市民に約束する『公約』。守るべきものではないのか。」—5月25日の神戸新聞が1面で、久元市長のこどもの医療費無料化の「公約撤回」を大きく報道(下図)。

2013年9月(市長選の公約発表時)

「近隣自治体に比べ水準が劣るのは見過ごせない。最終的には入院、外来とも中3までの無料化を目指す」

神戸市・久元喜造市長



17年2月(当初予算案発表)

中学生までの無料化を見送り「財源を集中するのではなく、もっと求められていることがある」

久元市長は「限られた財源の中で持続可能な制度とするため、利用者の自己負担を求めるとしています。一方、高校卒業まで無料にする小野市の市長は市民の意識は高く医療費は増えていない」としています。

新聞記事は「公約と現実の行政を見比べる有権者の『目』も試される」と結んでいます。

## 憲法9条を守れの声 神戸から強く大きく

安倍首相は、5月3日の憲法記念日に、憲法9条の改憲を公言しました。

6月24日、神戸市内の講演会では自民党改憲案を次の臨時国会で提出すると発言しました。

久元市長は、憲法の施行を祝い擁護する集会について、「中立性を損なう」として「後援」を拒否し続けています。

神戸市民アンケート<sup>(\*)</sup>では、安倍首相が憲法9条を「改定」しようとしていることに、60%以上の方が反対を表明しています。

憲法9条守れの神戸市民の声を、大きく発信しましょう。

(\*) 日本共産党神戸市議団が3月に行ったアンケート4200人が回答(市議会だよりから転載させていただきました)

